



起立採決により可決

23日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、後期高齢者医療及び介護保険特別会計に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

分科会・委員会での審査

24日の本会議では、予算審査特別委員会を経て、各分科会を経て各分科会での審査されました。

やすらぎを未来につなぐ暮らし充実予算

総額840億216万円を可決

一予算審査特別委員会のあらし

本会議での質疑

平成21年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会での審査されました。一部予算に反対意見がありましたが、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。特別委員会の報告を受け、討論が行われました。討論では、世界的な経済不況の中で、庁舎建設事業は見直すべき、後期高齢者医療制度は高齢者差別であるなど反対意見が出されました。採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

質問・質疑では、

市長にその方針を問いました。主な質疑はインターネットインターネット公売について、社会福祉協議会補助金について、マニフェストの反映について、公共施設連絡バスについて、市債発行の目的について、

企画総務

エルタックス導入について、選挙事務支援システム改修事業について、財政調整基金積み立ての目安について、職員退職手当の取り組み状況について

福祉経済

戦没者追悼式の開催状況について、不妊治療費助成の実績について、不法投棄防止監視カメラ設置による効果について、紙類回収の見込み量について、JR刈谷駅駅舎改修におけるJR側の負担について

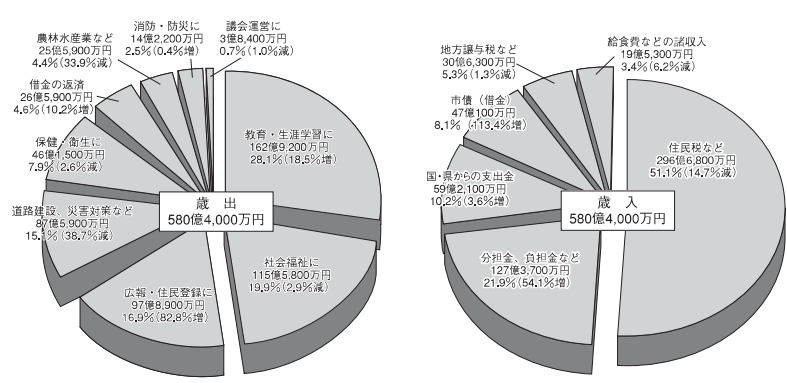
建設水道

都市計画費とまちづくりについて、優良建築物等整備事業の内容について、公共施設案内板の整備予定について、雨水貯留浸透事業について、市営住宅撤去費用について

文教

児童への防犯対策について、発達障害児童に対する支援補助金について、総合文化センター取得費の財源内訳について、総合文化センター開館記念事業について、給食調理業務委託の業者選定について

一般会計の内訳 ()内は対前年度比



平成21年度予算の総額

| 会計名 | 本年度 | 前年度比較 | 伸び率 |
|------------------|-------------|--------------|----------|
| 予算総額 | 840億 200万円 | ▲ 5億7,100万円 | ▲ 0.7% |
| 一般会計 | 580億4,000万円 | 18億7,900万円 | 3.3% |
| 特別会計 | 219億9,200万円 | ▲ 26億6,600万円 | ▲ 10.8% |
| 半城土高須土地区画整理事業会計 | 14億4,700万円 | 8,600万円 | ▲ 141.7% |
| 小垣江駅東部土地区画整理事業会計 | 3億2,300万円 | ▲ 6,700万円 | ▲ 173.3% |
| 野田北部土地区画整理事業会計 | 1億2,800万円 | ▲ 5,400万円 | ▲ 29.6% |
| 北刈谷第二土地区画整理事業会計 | 0円 | ▲ 1億5,500万円 | 廃止 |
| 下水道事業会計 | 49億3,000万円 | ▲ 12億3,400万円 | ▲ 20.0% |
| 国民健康保険会計 | 103億0,000万円 | ▲ 7億 100万円 | ▲ 6.4% |
| 老人保健会計 | 1億 800万円 | ▲ 6億9,400万円 | ▲ 86.5% |
| 後期高齢者医療会計 | 11億4,100万円 | 4,500万円 | 4.1% |
| 介護保険会計 | 49億1,500万円 | ▲ 1億 800万円 | 2.2% |
| 企業会計 | 39億7,000万円 | 2億1,600万円 | 5.8% |
| 水道事業会計 | 39億7,000万円 | 2億1,600万円 | 5.8% |

〔地方譲与税他の内訳〕 利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金
〔分担金、負担金他の内訳〕 使用料及び手数料、財産取入、寄附金、繰入金、繰越金
〔農林水産業他の内訳〕 労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費
(注) それぞれの数字は四捨五入しているため、総額や割合と一致していない場合があります。

特別会計と企業会計のあらし

本市には一般会計のほか、特別会計が8会計と企業会計が1会計あります。予算総額のうち、特別会計は219億9,200万円で、26.18%、企業会計は39億7,000万円で4.73%を占めています。特別会計は、自治体が特定の事業を行う場合などに、一般会計から分離して経理を行うものです。企業会計とは、株式会社等の民間企業と同様の会計方式により、経理を行います。特に、水道事業の運営は、「地方公営企業」の一つであり、公営という面と企業という面を持っているため、一般会計、特別会計とは別に、取支を計上します。

特別会計

- 土地区画整理事業**…公共施設の整備改善と土地の利用増進を図り、健全で良好な市街地の造成を目的としています。
- 〔半城土高須地区〕施行面積 23.5㌥
主な事業：仮換地図面修正業務委託、画地確定測量委託、物件調査委託、道路築造工事 (22㌥)、物件移転 (1件ほか)
- 〔小垣江駅東部地区〕施行面積 81.7㌥
主な事業：建物等調査委託、管布設工事 (219㌥)、道路築造工事 (211㌥)、物件移転 (1件ほか)
- 〔野田北部地区〕施行面積 4.4㌥
主な事業：建物等調査委託、画地確定測量委託、整地工事 (130平方㌥)、物件移転 (2件ほか)

- 下水道事業**…家庭等の生活排水を適切に排除し快適な生活環境を確保するとともに、川や海の水質を保全し、自然環境を守ります。また、雨水を速やかに排除し、浸水被害から住民の安全を確保します。
- 国民健康保険**…相互扶助の精神にのっとり、保険加入者の医療費の負担や、出産、葬祭に関わる費用を支給します。
- 後期高齢者医療**…老後における健康の保持と医療の確保を図り、世代間の負担を明確化することで、高齢者の福祉を増進します。
※老人保健医療は平成20年4月1日から後期高齢者療へと変わりましたが、それまでの医療費の精算等のため老人保健会計は存続します。
- 介護保険**…介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で、できる限り自立した生活を送ることができるよう、介護サービスの体制を整えます。
要介護・要支援認定者が介護サービスを利用した際に費用の9割を保険から給付します。また、要介護・要支援状態になるおそれの高い方に、予防事業を実施します。

企業会計

水道事業…安全で良質な水道水を常時安心して使用できるよう万全の体制を整えます。
給水戸数58,938戸、年間総給水量18,129,000立方㌥、1日の平均給水量49,668立方㌥

平成21年度施政方針に見る主な事業 竹中良則市長

やすらぎ、いきがい、うるおい、いろいろ、しんらいをキーワードに、市民の皆様が、“元気で幸せ”を実感できるまちづくりを推進します。



やすらぎ

暮らしの安心と安全を重要なものにとらえ、不安なく日常生活を送ることができるよう各種施策を推進します。

- ・育児不安の解消を図るため、助産師による赤ちゃん訪問を第2子以降の家庭にも拡大。 1,604万円
- ・安全性と利便性向上のため、3校において児童クラブを学校敷地内に整備。 2億678万円
- ・入居者の安全確保のため、認知症高齢者グループホームへのスプリンクラー設置費用に補助。 1,500万円
- ・地域の中で生活できる環境整備を推進するため、障害者対象のグループホーム整備・運営に補助。 616万円
- ・地震による被害軽減のため、木造住宅の耐震改修費の充実及び非木造住宅の改修費も補助。 4,860万円
- ・災害時の備えとして洪水ハザードマップを作成。 1,008万円

いきがい

健康で元気に暮らせるように健康づくりや生きがい支援、産業の振興を図ります。また、次世代を担う子どもたちの健やかな成長のため、教育環境の充実を図ります。



- ・老朽化した保健センターを移転建築します。(21・22年度) 16億9,200万円
- ・安心・安全な医療サービス向上のため、刈谷豊田総合病院の高度先端医療に対応可能な手術棟整備に助成。(21・22年度) 7億4,500万円
- ・35人以下の少人数学級を中学校1年生にも拡充。 5,110万円
- ・日高小学校増築のための実施設計を委託。 650万円



しんらい

市民から信頼される行政を目指します。

- ・まちづくりの指針となる第7次刈谷市総合計画及び自治基本条例を策定。(まちづくりナビ構築事業) 937万円
- ・インターネット公売を活用し、悪質な滞納者に対する滞納整理を強化。 35万円
- ・平成22年度完成を目指し、新庁舎を建設。(20～22年度) 94億8,300万円

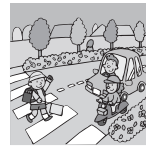


うるおい

交通渋滞などの課題の解消に取り組み、快適で住みやすい都市基盤を整備します。



- ・ラッシュ時の混雑緩和のため、JR刈谷駅ホームに階段を増設するとともに、改札口を拡張。(20・21年度) 4億6,829万円
- ・亀城公園を城址公園的な桜の名所として再整備するための設計や測量を実施。 1,200万円
- ・可燃ごみの減量とリサイクル率向上のため、月2回の紙類分別収集を実施。 1,800万円
- ・リサイクル率向上のため、資源回収報奨金を引き上げ。 2,090万円
- ・自治会の資源回収所設置に要する費用に補助。 600万円
- ・南北の交通機能充実のため、JR東海道本線、名鉄三河線と立体交差する市道を整備。 12億3,922万円
- ・中心市街地活性化及び交通安全等のため銀座地区の道路を拡幅。 1億1,732万円
- ・緑豊かなまちづくり推進のため、市民が行う生垣設置、屋上緑化、壁面緑化に補助。 300万円
- ・低公害車購入費補助の上限を12万円に増額。(2年間限定) 1,000万円
- ・青山斎園の葬祭場増設に向けて基本設計及び実施設計を委託。 700万円



いろいろ

歴史や文化を未来へと語り継ぎ、文化やスポーツなどの生涯学習や人と人との交流を支援して、豊かな人生を送れるよう努めます。

- ・総合運動公園に隣接する校庭を整備。 4,904万円
- ・南北連絡道路等の整備に合わせ、交通児童遊園を再整備。 931万円
- ・美人画、戯画など幕末浮世絵の魅力を紹介する大江戸の賑わい展を開催。 734万円
- ・刈谷出身の童画作家として活躍した河目梯二展を開催。 931万円
- ・依佐美送信所送信機器の国際電子学会マイルストーン認定を記念して、贈呈式及び記念講演を実施。 237万円



いわさきちひろ展を開催

「わらびを持つ少女」1972年
ちひろ美術館蔵

- ・生涯文化の普及と振興
 - ・刈谷市にゆかりのある歴史上の偉人をPRするためDVDを作成。 600万円
 - ・子どもたちの幸せと命の尊さをテーマに活動したいわさきちひろ展を開催。 2,938万円
 - ・水森かおりコンサートをはじめ12の自主事業を開催。 4,287万円
 - ・ウイングアリーナ刈谷及びウエースタジアム刈谷の施設を整備。 7,064万円

生涯学習施設の整備

- ・市内20か所の市民館に順次エレベータを設置。 1億2,495万円
- ・刈谷駅南地区に建設される刈谷市総合文化センターを取得(19・21年度) 170億円
- ・老朽化した双葉小北舎及び小垣江小体育館を改築。(20・21年度) 15億3,980万円
- ・教室不足解消のため、雁が音中を増築。 1億2,495万円
- ・老朽化した第二学校給食センターを改築。(20・21年度) 21億8,420万円

生きがいをもつ生涯学習都市づくり

- ・安心して学べる教育施設の整備
 - ・老朽化した双葉小北舎及び小垣江小体育館を改築。(20・21年度) 15億3,980万円
 - ・教室不足解消のため、雁が音中を増築。 1億2,495万円
 - ・老朽化した第二学校給食センターを改築。(20・21年度) 21億8,420万円
- ・安全で安心できる学校づくり
 - ・登下校の安全を守るため全小中学生に防犯ブザーを配布。 700万円

学校教育の充実

確かな学力の育成
・自然や科学技術とふれる機会を充実し、理科や算数が好きな子どもを育成。 200万円

感性豊かな心の育成
・望ましい職業観や勤労観を身に付けるため、キャリア教育を支援する協議会を設置。

安全で安心できる学校づくり
・登下校の安全を守るため全小中学生に防犯ブザーを配布。 700万円

安心して学べる教育施設の整備
・老朽化した双葉小北舎及び小垣江小体育館を改築。(20・21年度) 15億3,980万円

・教室不足解消のため、雁が音中を増築。 1億2,495万円

・老朽化した第二学校給食センターを改築。(20・21年度) 21億8,420万円

教育行政方針(要旨)

近藤 博司 教育長

急速な社会の伸展や変化に対応して教育改革が進められる中、平成20年7月には教育振興基本計画が策定され、すべての子どもに、自立して社会で生きていく基礎を育てるために公教育の質を高め、信頼を確立し、社会全体で子どもを育むことができるようにすることができました。

また、20年度においては「生きる力」を育むことに重点をおいた新学習指導要領が告示され、その理念の周知徹底に努めました。新年度においては、確かな学力の定着と豊かな人間性の育成を図り、地域や家庭と連携しながら、教育力を高めていく学校づくりを通して、「学校教育の充実」に努めます。また、自ら求め、自ら満たし、生きがいをもつ生涯学習都市を目指して、自ら学習する意欲と能力が養えるよう生涯学習に関する多様な機会や場所、情報の提供を行い文化活動などの振興を図ります。